

宮路拓馬 国会通信

■ 来年度（平成28年度）予算 概算要求出そろ

来年度（平成28年度）予算編成に向け、各省庁から財務省への概算要求が、自民党の了承を経て出そろいました。

高齢化の進展による医療や介護などの社会保障関係費の増大や、国の借金にあたる国債の返済費用の増加により、過去最大の102兆4,000億円超となっています。

そのうち、例えば、農業の成長産業化に不可欠の農業農村基盤整備事業、いわゆる土地改良の予算については、今年度予算より1,000億円の増額要求となっており、満額の確保が求められます。

中国経済の動向など世界経済の先行きに不透明さが高まる中、年末の政府予算案決定に向け、地方の声をしっかりと反映させつつ、内需拡大を中心とする成長戦略の加速につながる予算となるよう力を尽くしてまいります！



(9月4日 自民党本部)

■ 違法伐採対策WTにおいて 議員立法を検討中

現在、自民党の林政小委員会の下に違

法伐採対策制度の検討のためのワーキング・チームが設置され、私も一期生議員の中で唯一メンバーに選ばれ、議員立法に向けた作業にあたっています。

違法伐採は、森林の減少・劣化、地球温暖化の進行、テロ組織への資金供給など、国際的に深刻な問題を引き起こすだけでなく、国内の森林・林業・木材産業にとっても、健全な競争の阻害要因となっています。

そのため、国内の木材輸入業者や加工業者等への過度な負担を避けつつも、いかに実効性ある対策を講じることができるか、WTO協定等との整合性にも留意しつつ、立法化を図ることが求められます。

そのような中、7月22日には、国際環境NGOの「FoE Japan」の方々から米国の違法伐採対策法（レイシー法）の内容や運用実態について説明を受けました。

今後、こうした内容も参考にしつつ、来年のサミットの環境大臣会合において、日本が世界の違法伐採対策をリードできるよう、立法化の作業を加速させてまいります！



(7月22日 衆院第一議員会館自室)

■ 国産茶振興を林農水大臣に申入れ 自民党茶業振興議員連盟

自民党の茶業振興議員連盟は、8月27日に総会を開催し、国産茶の振興に関する要請10項目を決議しました。需要と価格の低迷が続く国産茶について、販売促進への支援や学校給食での飲用促進、輸出拡大への支援、そして条件不利茶園の整備対策の創設などを内容とするものです。去る9月3日に、同議連幹事長の上川陽子法務大臣とともに林芳正農林水産大臣を訪れ、要請書を手交しました。

私も同議連の事務局次長として、また、日本有数のお茶どころを選挙区内に抱える国会議員として、日本茶の消費拡大や輸出の振興に取り組んでまいります！



(9月3日 農林水産省幹部会議室)

■ 「有人国境離島法案」 の成立に向けて

9月9日、維新の党の国家政策部会において、先輩の自民党代議士とともに、議員立法の実務担当者として「有人国境離島特別措置法案」について説明をさせていただきました。

公式な場での他党への説明は初体験でしたが、維新の党の先生方には、法案の必要性についてご理解いただけたものと思っています。

残念ながら、今国会中の成立は見送られる可能性が高くなってしまいました。次期国会中に必ず成立させるべく、

今後とも力を尽くしてまいります！



(9月9日 維新の党会議室)

■ やねだんの豊重哲郎氏を講師に 迎え朝食勉強会を党本部にて開催

9月17日朝8:00より自民党本部において「第2回 衆議院議員 宮路拓馬と国政を語る会」を開催させていただき、120名を越える方々に出席していただきました。

石原信雄東京後援会長（元官房副長官）と私からの挨拶に続き、「奇跡のむら」と言われる鹿児島県鹿屋市串良町の柳谷集落（通称：やねだん）において、行政に頼らない村おこしの実践家としてご活躍の豊重哲郎さんから講演をいただきました。

具体的な数字をベースにしつつ、感動と感謝の心をもって、高齢者から子どもまで集落総出で地域づくりを行っている豊重さんの熱意が伝わる講演で、私も地方創生への思いを新たにしました！



(9月17日 自民党本部)